

〈新連載〉

中高生の
PHP作文甲子園

きらめき
と歩む

1

ずっと、 このグローブと

ほしかわゆうせい
星河佑誠

愛知県
海陽学園海陽中等教育学校
1年

僕のたからものは、ゼットの軟式外野手のグローブです。なぜかというとな人生で初めてのグローブだからです。お店に入り、たくさんさんのグローブの中でデザインにひかれ、手を入れた瞬間、手が吸い込まれるようでした。そしてこのグローブは自分のためのものだと思えました。

野球をしていないときでも、グローブにボールを挟んで型をつけたり、オイルを塗

ったりして、手入れをしています。このグローブをつけているだけで、難易度の高いボールが捕れるかドキドキします。また、相手チームが満塁のときに先制させないように、素早く送球できる自分を想像してワクワクします。

さらに、グローブの匂いをかぐと、グラウンドの土の匂いやボールの匂いを思い出します。スライディングしながら捕球した

ときの土の舞う匂いや、間に合わないと思ったボールが捕れたときのおどろきと達成感を思い出し、早く野球をしたいという気持ちになります。

また、グローブをつけて、もう一方の手でたたくと勇気が出ます。「どんなボールが僕のところにきても捕ってやる！」とい



う強い気持ちになります。フライやゴロがきても絶対にエラーできない、正しいポジションに送球しなくてはいけない、という責任感も出てきます。さらに、こんなに手になじむグローブをつけているから、ボールを確実にさばいて、アウトを量産できるだろうと安心するのです。

これほどにドキドキ感、ワクワク感、勇気、責任感、安心感を与えてくれるグローブは、僕のたからものです。このグローブがどんなに古くなっても、これからもずっとそばに置いて大切にしていきたいです。そして大きくなってこのグローブをつけたときに、今と同じ気持ちでいる僕のこととても楽しみです。

PHP研究所主催2024年度文部科学省後援
第8回PHP作文甲子園「私のたからもの」
中学生最優秀賞受賞作